

# 徹底した討論と 執行部の決断で

# かち蘇我支部結成！

## 勝利の教訓を全員のものに！

あらゆる妨害をのりこえて遂に勝ちとられたら、28「蘇我支部の結成」は、一四〇〇の正義と勝利を象徴するものである。蘇我支部五〇名の仲間が支部執行部を先頭に切りひらいた、この勝利の教訓を一四〇〇名全体のものとしてつかみとっていかねばならない。

連日の妨害をけって実現した  
一〇〇%の団結署名

蘇我支部結成に至るまでの道のりは、まさに異常とも思えるほどの執拗な「オルグ」・妨害・デマ宣伝との闘いの連続であった。

五月二十八日の蘇我職場集会や六月一日、公労委認可の時点を中心この二ヶ月間にのべ六〇〇名の暴力・デマ分子が職場に押しかけたのである。また、わざわざ「蘇我支部の皆さんへ、結論を出すのはまだ早い」(?! )と銘うった笑止千万なデマ資料を「特別に」作製しバラまいたり等々、を見るまでもなく、追いつめられた最後のまさかえしポイントとして明らかに「本部側」は「蘇我」にかけていたのである。

そのような意味で、この蘇我支部における「完ぺきな勝利」と動労「本部」の「完敗」は、事態が本質的に大勢を決した事を意味している。

### 勝利の教訓は何か

①この勝利の教訓の第一に挙げられる事は、徹底した自由な討論のもとで全員が確信をもって「真実」と「デマ」をはっきりと見極めて決断したという事である。

そもそも労働組合という組織内において意見の相違を即「テロ・リンチ」に訴えたりセクト的な「排除の論理」に訴えるという革マル流のやり方を厳しく批判して闘いぬいている動労千葉の一貫した姿勢の中でこそ、討論が正しく実ったのであり、そのような指導責任を全力で果たした支部執行部の努力を高く評価しなければ



六月二十八日、一〇〇%の団結署名を基礎に、蘇我支部は堂々と結成された。



関川委員長より新組合旗が宇佐美支部長に手渡された。

ばならない。

②勝利の教訓の第二は、新生動労千葉があらゆる妨害をけって一步一步堅実に前進を勝ちとってきたという「まぎれもない事実」がしっかりと千葉の仲間に見とどけられた事を意味している。(とりわけ「公労委」「団交」問題。一つの真実が一〇〇%のデマをうちくだいた！)

③蘇我の仲間の切り拓いた重要な勝利の一つに、これまでマル生や合理化との苦闘をへながら自らの手で築き上げてきた職場の団結・組織を何よりも大切に守っているという全員の努力が、外部からの無責任な「破壊」のための破壊策動を遂に許さなかったという事である。

今こそ  
佐倉・銚子の仲間  
の英断と  
決起を！

今こそ蘇我の勝利に代表される結成九支部の仲間の切り拓いた地平と教訓を全面的に発展させていかなければならない。

折から運輸省・国鉄当局は一七万人の人員削減を軸とするかつてない厳しい大合理化攻撃を発表し、われわれの職場・生活を破壊せんとり出してきている。

「安定宣言」再建協力」路線に墮落した部分をのりこえて、真に闘う組織と団結を一日も早く万全に築き上げるために、とりわけ、佐倉・銚子の仲間の支部結成大会・団結署名貫徹が重要となっている。討論を尽し、英断をもって、動労千葉の旗のもと一致団結して前進しようではないか！